

# レファレンス だより

2012年2月号  
No. 111

福岡市総合図書館  
図書サービス課 相談係  
☎092-852-0632



レファレンス・サービスとは、情報を求めて来られた利用者に対して、図書館の資料等を活用して、必要としている情報を探すお手伝いをするサービスのことで、法律相談や物品鑑定などといったお答えできない質問もあります。また、質問によっては回答に日数がかかるもの、資料や情報が提供できない場合もありますのでご了承ください。

## ■レファレンス受付件数（2011年11月分）

参考	人文	社会	自然	郷土
80	1672	381	348	428
国際	国連	こども	ポピュラー	合計
428	80	842	988	5,247

（開館日 24日 一日平均 218件）



## 今月のレファレンス徹底解説！

Q：華道、茶道、書道、武道などの「道」の意味について知りたい。

### ■国語辞典

『日本国語大辞典 第12巻（第2版）』（小学館 2001年）2階 C1 R813.1/-

「道」（みち）：人や動物また車など、動くものが行き来するみち。「道路」転じて、人の踏み行くべきみち。守るべきすじみち。特に、宗教的な教え、さとり。「道徳」「仏道」やり方。手だて。方法。また技芸。学芸。「茶道」「柔道」とある。

### ■百科事典・事典

『日本大百科全書 第22巻（2版）』（小学館 1994年）2階 C1 R031/-

「道」（みち）：中国思想として、儒家と道家の概念の説明あり。【日本思想史における道】の項に、基本的には通路の意、究極のありようへ至るためにたどらるべき具体的階梯（かいてい：学芸などを学ぶ段階のこと）をいうとあり。伊藤仁斎、荻生徂徠、本居宣長らの思想家の説く道について説明あり。色道、武士道、芸道、花道などは「道」がより個別的、限定的場面において展開せられたものであるとの記述がある。

『世界大百科事典 第27巻（改訂版）』（平凡社 2009年）2階 C1 R031/ㄗ

「道」（みち）：江戸時代におもに儒学の概念として＜道＞の語が用いられた。現代語の＜規範＞の意味に近いが、通路を意味する語義が基底にあることから、固有のニュアンスを含むことになるとある。

『比較思想事典』（中村 元／監修 東京書籍 2000年）2階 C9 R103.3/ㄗ

【中国思想】道は本来は道路の意味であるが、やがて宇宙万物の原理あるいは本体の意味をも含むようになった。道が含み持つ原理的性格は日本語の「みち」よりもはるかに強い。儒家と道家の「道」について解説あり。

【日本思想】日本では、仏教思想の影響のもと、能・狂言にしても、その稽古は一種の修行、すなわち「道を学ぶ」という精神で行われ、茶道・華道・書道・武道にしても同様である。たんに技術を学ぶのではなく、心の鍛錬に資するという観点から稽古がなされるのであると書かれている。

### ■一般資料

『道の思想』（寺田透／著 創文社 1979年）閉架書庫 704/ㄗ

「もともと『道』というのが、含みの多い言葉で、それがましてドウと発音されるようになると、この語はいわばなんとでも化合する性質を持ち始め、ついに多種多様な技芸と結びつくに至った。ただし、日本での話である」と記載あり。現代の「道」に関する多くの文献を紹介。

『武道を知る』（田中 守／[ほか]著 不味堂出版 2000年）2階 B19 789/ㄗ

明治15年嘉納治五郎は、江戸時代に行われていた柔術をもとに自ら作り上げた武術を講道館柔道と名づけた。嘉納が柔術を柔道に変えたことで、他の武術も「術を通して心身を鍛えよう」という意図から、術の字を道に変えていき、大正の初め頃には柔道や剣道、弓道の総合名称としての「武道」が定着したとあり。「武士道」についても解説されている。



## その他にもこんな質問がありました

Q：博多少女歌劇について知りたい

### ■郷土資料

『博多大正世相史』(井上 精三／著 海鳥社 1987年) 1階 77 219.1/4/7外

大正10年4月から大濠で開かれた子供博覧会で公演されたのが始まり。公演を取り仕切ったのは箏曲の師匠で洋楽にも造詣が深かった井上胡蝶。自分の娘富貴子を中心に、自作自演の歌劇を公演した。博覧会後はさらに歌劇団の強化を図るため、大正11年に博多少女歌劇養成会青黛座せいたいざを置き、一般から生徒を募集した。歌劇の流行、大正12年の関東大震災の影響もあり、全国各地はもちろん遠く樺太、満州でも公演、好評を博したとある。青黛座は経営に行きづまり昭和2年に解散した。

### ■郷土雑誌

『Wa(わ) 1999年12月号』(福岡市文化芸術振興会) 2階郷土 K35

特集「舞台に賭ける」で、博多少女歌劇青黛座の事が書かれている。井上胡蝶の写真、青黛座規則も載っている。

『博多独楽 1993年1月号』2階郷土 K31

日本でいちばん最初にバレエを教えたのは博多少女歌劇団だったというエピソードが書かれている。

Q：亡くなった人の名誉毀損について書かれた資料はあるか？裁判が行われた事例もあればみたい。

### ■一般資料

『情報化時代の名誉毀損・プライバシー侵害をめぐる法律と実務 新版』

(静岡県弁護士会／編 ぎょうせい 2010年) 2階 D11 326.25/ジ

名誉毀損の対象として死者について記述あり。刑事では「死者に対する名誉毀損は、虚偽の事実による名誉毀損の場合に成立する」(刑法230条2項)、民事では直接保護説、間接保護説があるとわかる。間接保護説は①遺族自身の名誉毀損とする考え方②故人に対する敬愛追慕の情の侵害ととらえる考え方があり、それぞれの判例の出典雑誌を紹介している。

『名誉毀損の法律実務』(佃 克彦／著 弘文堂 2008年) 2階 D10 324.55/ツ

「死者に対する名誉毀損」について「遺族自身の名誉毀損」「故人に対する敬愛追慕の情」「死者自身の名誉権侵害を認める見解」等章立てし、それぞれ判例を挙げて解説。注釈、参考文献が豊富。

『名誉毀損・信用毀損の法律相談』(升田 純／編著 青林書院 2004年) 2階 D11 326.25/マ

### ■データベース「D1-Law(ディー・ラウ)」で検索

「死者の名誉毀損」で検索すると、8件ヒット。裁判によっては要旨が確認できるものもあり、判例評釈や参考文献等が紹介されている。これを元に当館所蔵雑誌を確認することができる。

### ■雑誌

『別冊ジュリスト 2005年12月15日号』2階 D4

特集号「メディア判例百選」。「死者の名誉毀損—『落日燃ゆ』事件」の項で過去の裁判例、学説、論文等、詳しく書かれている。

Q：明治以降、どんな人が爵位をもらったか。

### ■事典

『昭和新修華族家系大成 別巻 華族制度資料集』(霞会館諸家資料調査委員会／編纂 霞会館 1985)

2階 C11 R288/カ

「版籍奉還と華族の設置」の章に「明治新政府は明治2年6月17日版籍奉還を諸侯に命ずると同時に、公卿・諸侯の華族と稱せしめた」とあり。華族一覧表には、氏名や17年7月の華族令制定時における爵位のほか、公家にあっては家格、諸侯にあっては版籍奉還時の藩名も掲載あり。

### ■華族関連

『華族たちの近代』(浅見 雅男／著 NTT出版 1999) 閉架書庫 361.81/7

「爵位はどのように決定されたか」の項目に「叙爵内規という規定にもとづいておこなわれた」とあり。公爵・侯爵・伯爵・子爵・男爵に叙せられるべき者として各爵の内規条項の記述がある。そのほか、「爵位は華族の戸主しかもてない。戸主とおなじ戸籍に入っているものはすべて華族であるが、爵位を持ってなかった。爵位は戸主が家督をゆずるさいに、家督相続者に移った。ただし、戸主が女性の場合は爵位を持ってなかったため、3年以内に養子をとって家督を継がせなければ爵位を喪失した」とあり。

『華族社会の「家」戦略』（森岡 清美／著 吉川弘文館 2002）2階 D15 361.81/㉔

「華族であった者の他にも、本人の勲功のみによって爵位が授けられた」とあり。明治17年～22年までの「爵別有爵者数の推移」表からも、有爵者が増加していることが分かる。

Q：麴（こうじ）の作り方が知りたい。

■麴かび関連図書

『わが家で作るこだわり麴』（永田 十蔵／著 農山漁村文化協会 2005年）1階ポ61 588.51/㊦  
台所でする麴づくりの説明として、箱を麴室に見立てて麴をつくる方法が詳しく図入りで載っている。説明では米麴を例に、サワラ材で自作した箱を使って仕込んでいるが、衣装ケースや発泡スチロール箱など保温・保湿がはかれるものであれば活用できると書かれている。

『秘伝発酵食づくり』（林 弘子／著 晶文社 1999年）1階ポ61 588.5/㊦

キビ、アワ、ヒエなどの雑穀を利用した麴づくりについての記述がある。

■雑誌記事

『現代農業 2010年1月号』（農山漁村文化協会） 閉架書庫

こうじ菌バンザイという特集が組まれている。麴づくりの保温器具として湯たんぽ、こたつ、風呂場が紹介されており、それぞれ図入りで作り方が載っている。

Q：韓国の仮面劇でつかわれる仮面の詳細が写真などで載っている図書が見たい。

■関連書籍

『韓国仮面劇』（田 耕旭／著 法政大学出版局 2004）2階 B19 775.8/㊦

韓国の仮面劇は、祝祭で催される、社会風刺や支配層への批判など滑稽性を含んだ民俗芸能で、村祭から自主的に生成、発展してきた仮面劇（村まつり系統仮面劇）と、専門的な演者により生みだされ、伝承されてきた仮面劇（本山台ノリ系統仮面劇）の2系統がある。使用される仮面の材料は、紙・ひさご・木・竹製品など多様で、仮面の色も赤・黒・白・黄などの原色が多い。仮面の種類は老人、老婆、女性などの一般庶民や両班、官吏、僧侶など多種に渡っているとの記載がある。

『朝鮮を知る事典』（伊藤 亜人／監修 平凡社 2000）2階 C11 R221/㊦

韓国の仮面劇で使われる仮面は、パガジ（韓国の丸い瓢箪）製が一番多く、木製と紙製がこれに次ぐ。色は黒、白、赤、青、黄の5色が基本とされているとの記載がある。

■韓国書

『山臺・城惶神祭假面劇의 研究』（崔 常壽／著 成文閣 1988）閉架書庫 7H3 F101KOR/775.8/CH

揚州別山台・旧把撥山台・河回別神・江陵端午祭の仮面劇で使われる仮面が掲載されている。

『海西假面劇의 研究』（崔 常壽／著 成文閣 1988）閉架書庫 7H3 F101KOR/775.8/CH

鳳山の仮面劇で使われる仮面が掲載されている。

『野遊・五廣大假面劇의 研究』（崔 常壽／著 成文閣 2000）閉架書庫 7H3 F101KOR/775.8/CH

東萊・水営の野遊、馬山・金海・晋州・統営・固城の五広大の仮面劇の仮面が掲載されている。

『고성오광대』（심상교 / 글 박상윤 / 사진 화산문화 1988）2階 A16 F101KOR/772.21/SI

慶尚南道固城に伝わる固城五広大の演目・演技・道具（仮面等）をカラー写真と共に解説している。

『양주별산대놀이』（정형호 / 글 서현강 / 사진 화산문화 2000）2階 A16 F101KOR/772.21/JE

京畿道揚州に伝わる揚州別山台ノリの演目・演技・道具（仮面等）をカラー写真と共に解説している。

『동래야류』（김경남 / 글 이봉선 / 사진 화산문화 2000）2階 A16 F101KOR/772.21/GI

釜山市東萊区に伝わる東萊野遊の演目・演技・道具（仮面等）をカラー写真と共に解説している。

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



## 今月の一冊！

ビジネス、  
就職活動などに便利！

### 『日経シェア調査 195 2012 年版』

(日経産業新聞／編 日本経済新聞出版社 2011年) 2階C3 R675.2/ニ/ビヅ 1

ある商品のシェアを調べたいという時に便利なのが、『日経シェア調査 195』です。この資料は、主要商品やサービス 195 品目の市場占有率について書かれています。巻頭に国内シェア、分野別シェア、世界シェアがそれぞれ分析されており、その後に各商品ごとに解説、シェアのグラフ、過去5年間のシェア上位の動きなどが収録されています。

2011 年版以前は、『日経市場占有率』という題名で出版されていました。バックナンバーは、2階C21 にあります。このほかにC3 には、業界シェアについて調べるための『最新業界地図 2011 年版』もあります。ぜひご利用下さい。

**使ってみました！**⇒ “2010 年の薄型テレビのシェア” を調べる！

#### ■世界シェア

世界シェアトップは韓国のサムスン電子で 22.3% (前年比-1.1%)、2 位は同じく韓国のLG電子で 13.5% (前年比+1.1%)、3 位はソニーで 12.4% (前年比 0%)。韓国勢が為替のウォン安を活かし優位に立った一方、日本勢は横ばいにとどまっている。

#### ■国内シェア

国内シェアトップはシャープで 33.7% (前年比-2.3%)、2 位は東芝で 23% (前年比+3.4%)、3 位はパナソニックで 22.2% (前年比-0.4%)。世界シェア 3 位のソニーは、国内では 4 位 11.5% (前年比+0.3%) にとどまっている。2010 年はエコポイント制度と地上デジタル放送への完全移行のため、国内出荷台数は過去最高となった。各社が販売台数を伸ばすなか、特に買い替え需要の取り込みで優位に立った東芝が、前年の 3 位から順位をあげた。



## 図書館活用術 ～図書整理期間について～

図書館では、毎年図書整理期間を設けています。図書整理期間中は図書館を休館し、主に蔵書点検作業を行っています。蔵書点検は、書架に並んでいる全ての資料の情報を読み取り、行方不明になっている資料がないかをチェックする作業です。きちんと所在を確認することで、在庫のはずの資料が棚にないというような事態を防ぎます。蔵書点検以外にも、書架の整理や移動など普段は出来ない作業を行っています。

また、蔵書点検のことを曝書(ばくしょ)とも言います。曝書とは、和書の虫干しのことで、本を広げて日光に当て、風を通し、紙魚(しみ 紙類などの澱粉質をなめて跡をつける小さな虫のこと)等の害を防ぐことを目的としています。年中行事として歳時記にも登場します。図書館では、昔の名残で蔵書点検を曝書と呼ぶ場合があります。

出典：『最新図書館用語大辞典』図書館用語辞典編集委員会／編 柏書房

『図書館ハンドブック』日本図書館協会図書館ハンドブック編集委員会／編 日本図書館協会



## 分館の図書整理期間が始まります。

2 月に入ると各分館で図書整理期間が始まります。市内の分館を 2 グループに分けて行われます。図書整理期間中は、ご迷惑をおかけしますが何卒ご了承ください。

2 月 7 日(火)～2 月 16 日(木)まで 和白・博多・中央・城南・西

2 月 21 日(火)～3 月 1 日(木)まで 東・博多南・南・早良・西部

\* 総合図書館は、3 月 5 日(月)～3 月 14 日(水)を予定しています。